



2021年11月5日

各 位

上場会社名 太陽誘電株式会社
 コード番号 6976 東証一部
 代表者名 代表取締役社長 登坂 正一
 問合せ先 広報部部長 木本里映子
 電 話 (03) 6757-8315
 U R L <http://www.ty-top.com/>

業績予想、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月5日開催の取締役会において、2021年8月5日に公表した2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想及び2022年3月期の1株当たり配当予想を下記のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

また、当社は同日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1)2022年3月期 連結通期(2021年4月1日～2022年3月31日)業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	333,000	55,000	54,500	39,500	314円70銭
今回予想 (B)	345,000	64,000	64,000	48,000	382円20銭
増減額 (B-A)	12,000	9,000	9,500	8,500	
増減率	3.6%	16.4%	17.4%	21.5%	
(ご参考) 2021年3月期 通期実績	300,920	40,766	41,247	28,615	227円99銭

(2)修正の理由

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の需要予測等に基づき、通期業績予想を上方修正いたします。

第3四半期連結会計期間以降の業績につきましては、電子機器を活用した在宅勤務や家庭学習の増加、5Gスマートフォンを中心とした通信機器の高機能・高性能化、自動車、情報インフラにおける電子化・電装化や高性能化により、競争優位性があり付加価値の高い高信頼性商品や最先端商品の需要が期初の想定より高い水準で推移することが見込まれます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、当第2四半期連結累計期間にマレーシアの生産子会社において稼働制限が生じましたが、第3四半期連結会計期間以降は通常どおりの稼働状

況が継続する前提としています。また、第3四半期連結会計期間以降の期中平均為替レートの前提は、1米ドル110円です。

2. 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年5月13日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基 準 日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭	30円00銭	15円00銭
配当金総額	5,023百万円	—	1,882百万円
効力発生日	2021年12月1日	—	2020年12月2日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年5月13日公表)	30円00銭	30円00銭	60円00銭
今 回 修 正 予 想		40円00銭	80円00銭
当 期 実 績	40円00銭		
前 期 実 績 (2021年3月期)	15円00銭	25円00銭	40円00銭

(3) 修正の理由

当社は、株主への利益還元の充実を経営の最重要課題のひとつと位置付けており、配当の安定的な増加に努めることを基本とし、安定的な配当性向30%の実現を目指しています。

この方針のもと、当期の業績予想等を含めて総合的に勘案し、上記のとおり剰余金の配当(中間配当)及び1株当たり配当予想を修正いたします。

なお、期末配当につきましては、2022年6月開催予定の当社第81期定時株主総会に付議する予定です。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されている業績予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従って、実際の業績は、さまざまな要因の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上